経営方針と成長戦略

株式会社 TBグループ

経営理念

TBグループ

＜経営理念＞

喜んでもらう喜び　己も喜びたい（FOR　YOU）

＜今年度経営スローガン＞

「新芽（ニュービジネス）」を「ツキカエタ」で大きく育てよう！

＜社名　TBの由来＞

①トレンディビジネス（TB）を目指します。

時流の「環境」「健康」「観光」のグッド３K市場でニッチトップシェアをとる事業を行います。

②トータルワンストップビジネス（TB）を目指します。

メーカーからソリューションビジネスまで、ワンストップで顧客満足の高いビジネスを行います。

◆DS事業領域（事業拡大に向け各拠点機能の活用強化）

①旧松下電器の人材と信頼性評価設備

【宇都宮センター】

インパルスノイズ試験

電源に急激な電圧変動やノイズが起こったときに、製品が正常に動作し続けるかどうかを調べます。

電源変動瞬停試験

何Vまでなら正常動作するか、瞬間的に電力が停止した場合に正常動作するか、製品の耐性を試験します。

落下試験

運送中の落下による製品のダメージを想定して、規定に則った試験を実施し、結果をもとに梱包箱や緩衝材の仕様を決定します。

熱衝撃試験

温度を急速変化させることで、半田付けの状態や部品耐性の加速試験を行い、5年後～10年後の経時変化の状態をシミュレーションすることができます。

EMC試験

製品から放射される電磁波ノイズによってテレビが正常に映らなくなるなど、他の製品に影響を与えることがあります。電波暗室という外部ノイズを遮断した室内で、電磁波ノイズを測定します。

X線非破壊検査

外側からでは判別することができない不具合をX線装置を使うことで発見することができます。

③屋外シェア70%、豊富なビジョン製品群

②営業チーム/有力代理店所有

直販45名・法人10名・代理店130名

【TOWA販売網】

【法人代理店】

金融・流通・自治体・交通系・
大手メーカー系

④1万㎡の物流倉庫・製造ライン所有

【新潟物流センター】

⑤エージング・キッティング設備所有

【安曇野センター】

◆顧客/代理店開拓・協業・資本/業務提携等に有効活用!

◆DS事業分野①屋外マーケット拡大　②屋内マーケット進出

◎屋外マーケットへの更なるシェア拡大

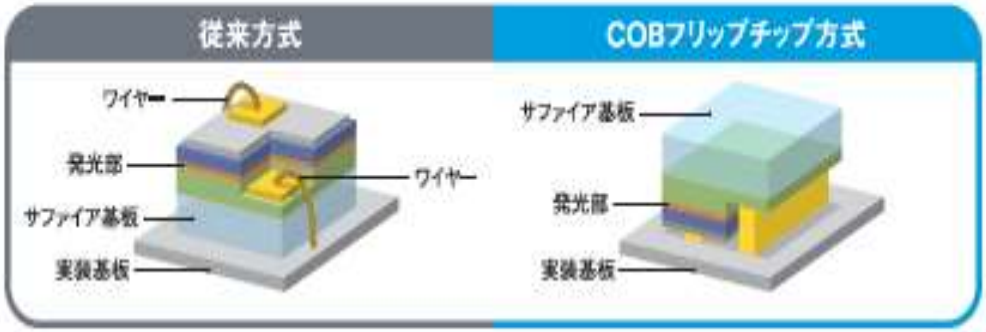
①屋外向けLEDビジョンラインナップの強化

②法人格に口座を持つ企業とのパートナーシップ強化

◎液晶・有機EL・液晶プロジェクタが台頭する屋内ビジョンマーケットへ進出する。

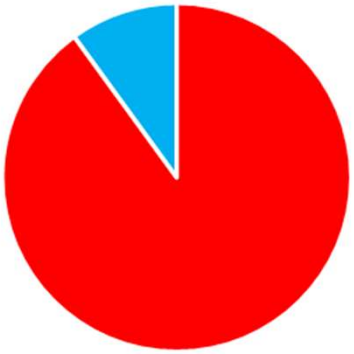
①新たなLED素子実装技術を活かした新製品の投入

②差別化→シームレスな大型化、高輝度を実現



高精細・低消費電力・低価格

ビジョン市場規模



■市場規模※2025年度予測

屋外市場　100億

屋内市場　1,000億　※自社調査

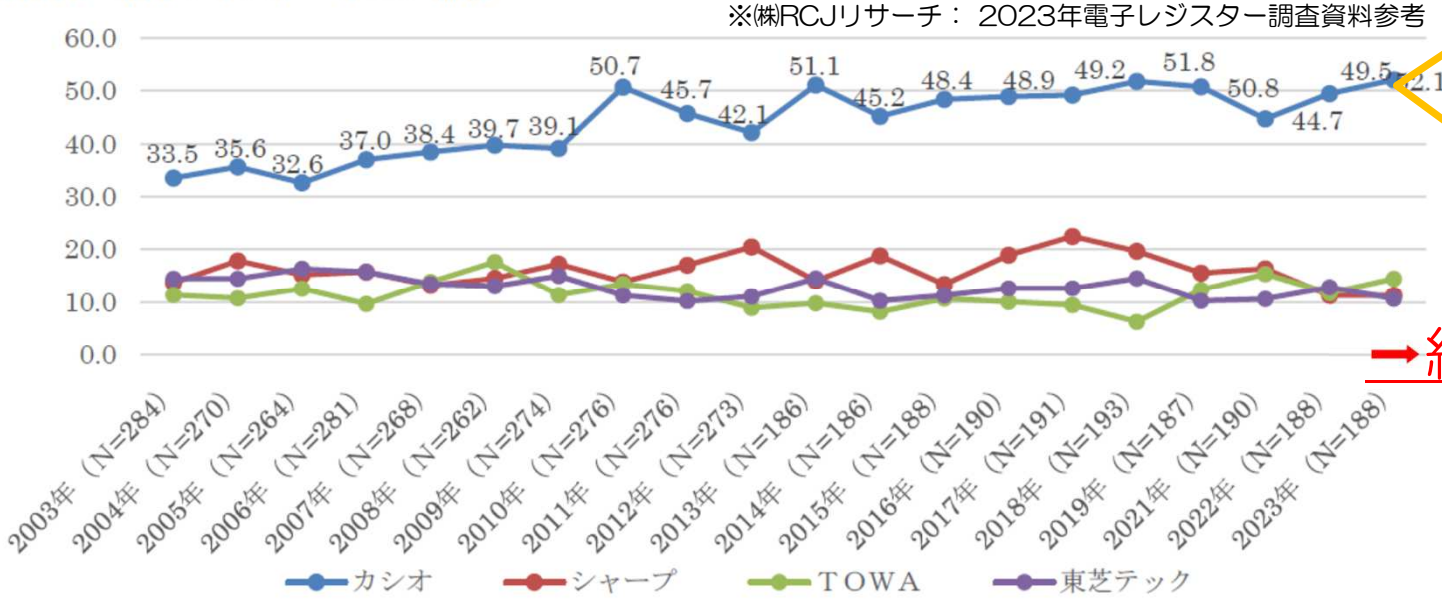
◆SA事業分野（スタートアップ店舗の財布をサポート）

①国内レジメーカーシェア遷移

単独利用の電子レジスターは調査を開始した2003年以来、「カシオ」社が20年連続でトップを維持。

図表１　電子レジスターシェア推移

※㈱RCJリサーチ： 2023年電子レジスター調査資料参考



販売ではなく、利用状況シェア

年により変動あるも、
概ねC社が約５０％
他３社は横並び

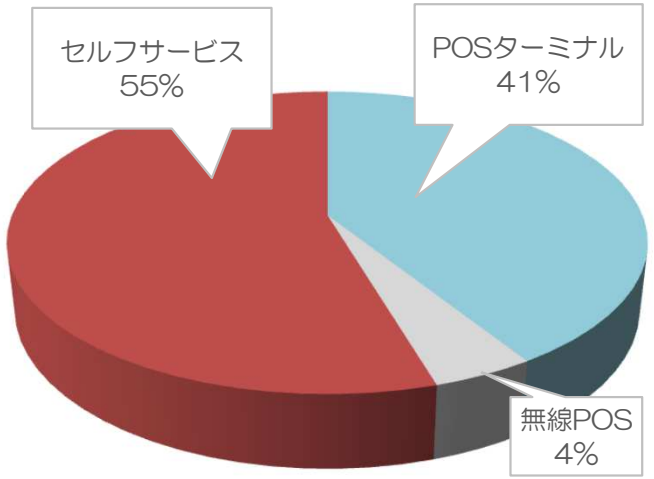
➡約4万台マーケット獲得!

②POS関連全体に対するセルフサービス構成比率拡大

	出荷台数	前年比	出荷金額	前年比
POSターミナル	60,602台	87%	約170億円	97%
セルフサービス	43,485台	113%	約210億円	114%
POSターミナル全体	104,087台	96%	約380億円	106%

※JEITA　情報フォーラム2024発表資料　参考

2024年度POSターミナル装置出荷金額

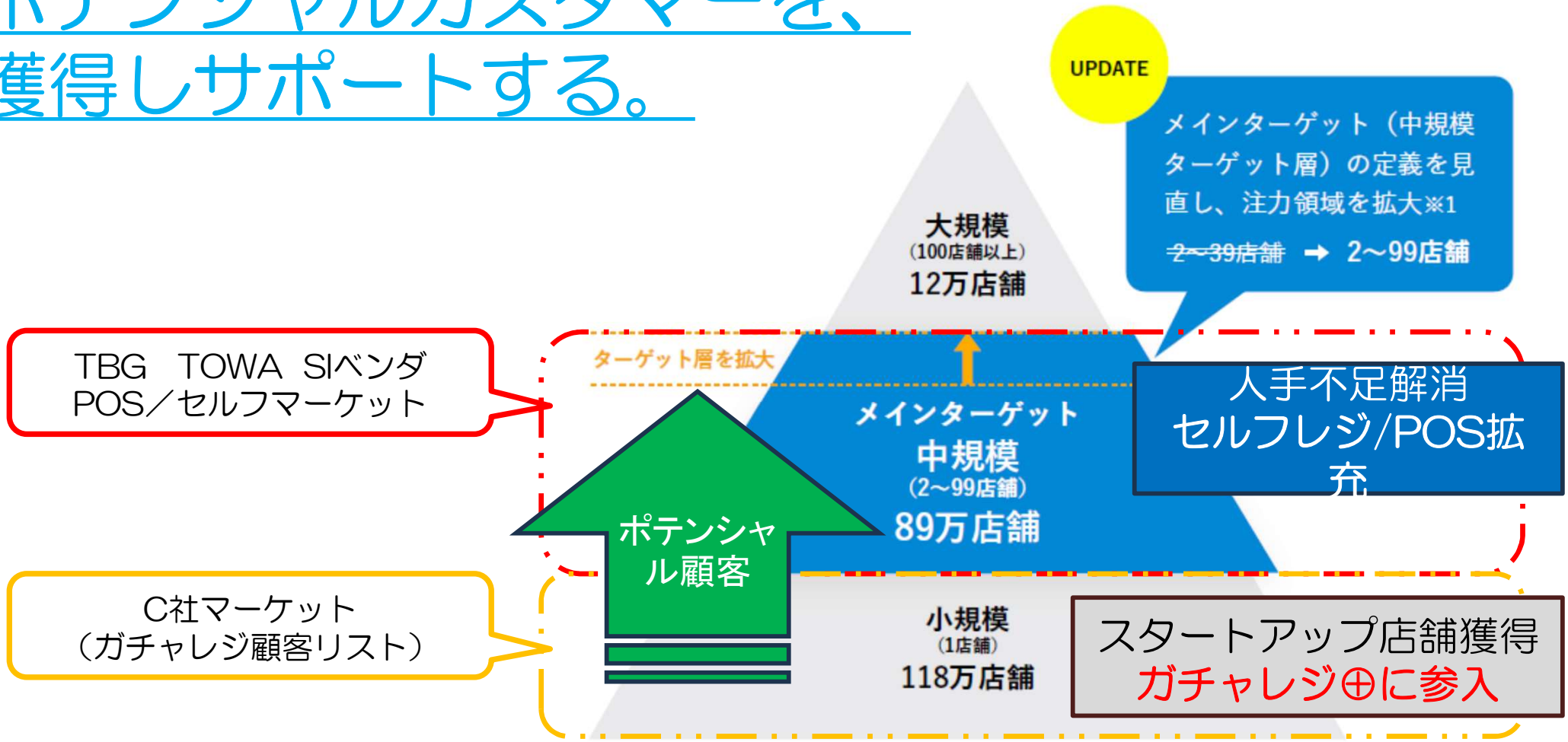


➡セルフレジ商材拡大!

◆事業展開と目指すもの!（店舗の財布をサポート）

スタートアップ店舗の成長に伴いPOS/セルフ/モバイルPOSソリューション拡充

ポテンシャルカスタマーを、獲得しサポートする。



経済産業省・総務省「令和3年経済センサス」の調査結果を基に当社作成

◆社会貢献活動【スポーツ関連団体への協賛】

社会貢献活動としてのスポンサー/ブランディング強化策

◆日本サッカー協会サッカー文化創造拠点『blue-ing!』を協賛
◆プロバスケットチームYOKOHAMA EXCELLENCEを協賛
◆東京2025デフリンピックトータルサポートメンバーで協賛
◆スフィーダ世田谷FCメディアパートナーとして協賛

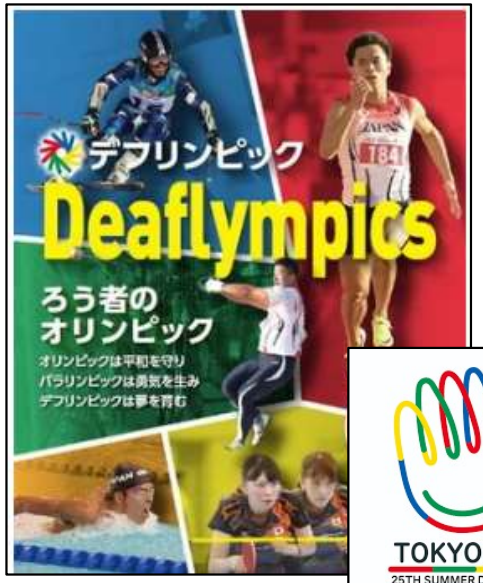
blue-ing!

東京ドームシティ

中野ブロードウェイ

YOKOHAMA EXCELLENCE
B3優勝

MAYUDAMA横浜関内



TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

デフリンピックとは、デフ＋オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。デフリンピックは、4年毎に開催されるデフアスリートを対象とした国際総合スポーツ競技大会です。

大会期間　2025年11月15日～26日
参加国　　70～80カ国・地域
参加者数　各国選手団等・約6,000人
競技数　　21競技

SALINAC事業とは

TBグループでは地方創生事業の一環として**弊社の最新型のデジタルサイネージとDXデバイスおよびAIノウハウを活用しSALINAC(サリナック）事業**をスタートします。

SALINACはSAfe /Life/ NAvigation /Community の頭文字をとった造語です。地方創生の重要課題である安全安心確保や人々が生き生きと暮らせる新たなライフステージを創造し、**様々な情報交流の提供**を通じて、地方創生の活性化を推進する。

SALINAC

地域をネットワークするサイネージ

Safe Life Navigation Community

安全安心　命・生活　情報ナビゲーション　地域

SALINAC事業

SALINAC

Safe /Life/NAvigation /Commnity

地方活性化プロジェクト

① SAFE：国土強靭化に対応し地域での災害関連情報の高度化

災害＆防災情報(地震／台風／豪雨)※Jアラート／Lアラート発信（サイネージ/TV/PC)
地域住民及び観光客向け情報の発信
訪日インバウンド観光客多言語対応機能

参）東京都23区の7割が訪日客の避難対策なし　日本経済新聞（11/24）

② LIFE：地域住民の生活支援の高度化

救急対応(24Hドクター)／健康寿命延伸コンテンツ／認知症プログラムなどのコンテンツ配信。
病院とクリニックの病診連携プログラム、在宅介護サービス、買い物支援など

③ NAVIGATION：案内誘導機能の高度化

天災時早急ナビゲーション機能NAVI(案内用)／多言語AI案内機能など

④ COMMUNITY：豊な地域づくりに貢献

地域（約5万世帯）を対象にした（市/区　担当）

AI動画広報/地域スポーツ/就職情報/不動産情報

©TB GROUP INC.

Confidential

地方創生2.0ネットワーク構築イメージ

最新型のデジタルサイネージを軸にIOTネットワークとAIコンテンツのノウハウの活用
地域活性化のための新たな情報ネットワーク形成

医療施設
（病院・クリニック）

在宅介護

交通機関
（駅構内/バス停/ガソリンスタンド）

公共施設/通勤場所

銀行

SALINAC
情報/コールセンター/産官学共同
運営支援本部

観光施設（神社仏閣）等

道の駅

広報施設
コインパーキング

宿泊施設
（ホテル・旅館・民宿）

地域商店街
料飲食店

AIスマタブ2.0

街角デジタルサイネージ

設置事例

多様なデジタルサイネージには地域情報、観光情報や地域の公共コンテンツ（防災、防犯、災害など）を表示して発信します。

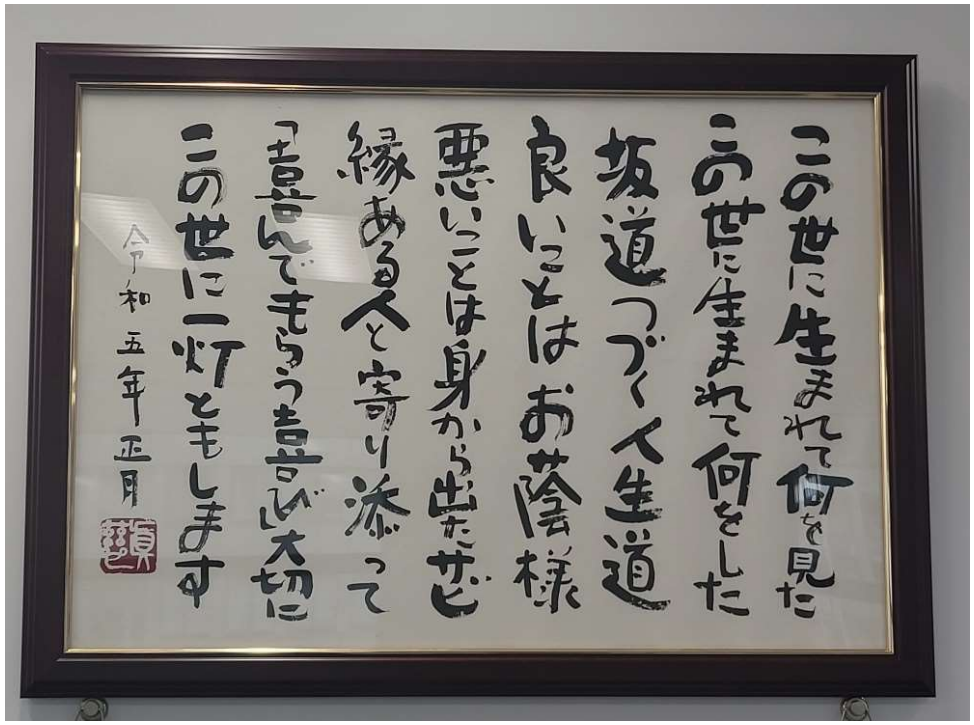
総合情報＋公共情報

多様な情報提供が可能。日本人だけでなくインバウンド観光客に対応します。

■デジタルサイネージ情報版機能
（外国人向け多言語情報含む）

- 地域情報（自治体情報）
- 施設情報
- 観光情報
- 気象情報
- 交通運行情報
- 防災情報（避難勧告・避難指示）
- 防犯情報
- 災害情報
- 地震情報
- 緊急避難場所情報
- 設置場所付近のローカルな情報
- 地域の安全安心情報
- 買い物情報　など

参考資料



＜行動目標＞

ツ ついてる人、伸びてる企業**と“積極的”**に付き合う

キ **“聞き上手”**になり、本音で付き合う

カ 感謝の気持ちで素直に**“ありがとう”**

エ 笑顔で**”ニコニコ“**明るく生きる

タ 他人に喜んでもらう、まず身近な人に一灯をともす

私たちが大切にしている心得です。